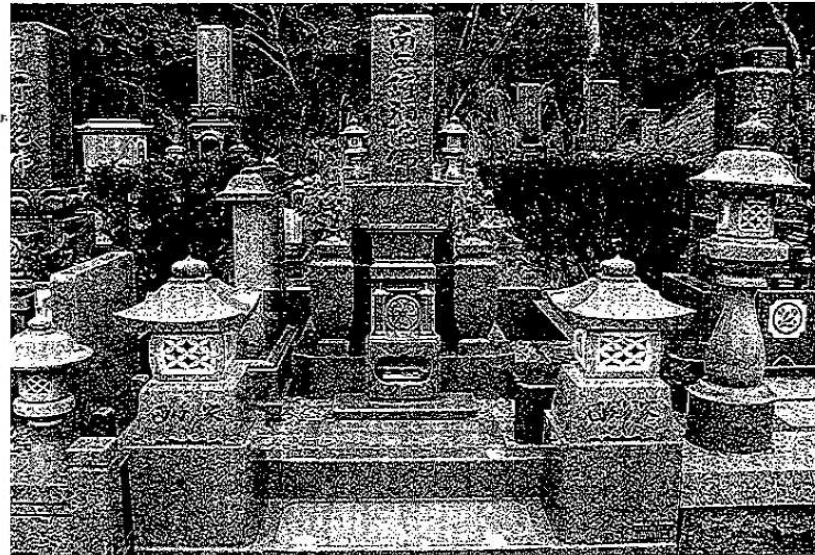
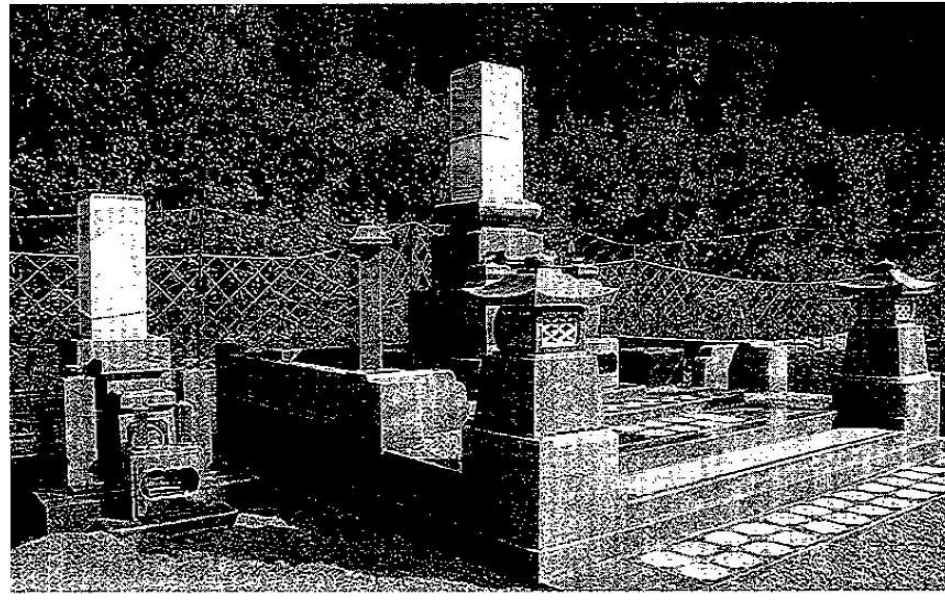


# 西日本から復興応援 「少しでも力になりたい」

兵庫県 (有)山川石材店



福島、宮城の石材でお墓を造るということに賛同して下さったお施主のお墓



(有)山川石材店 山川隆氏

たのだそ...

また山川氏は、東日本大震災後お施主に積極的に関与して下さったお施主様も複数あり「す」ということで、佐用町の役場や、被災地での建墓を決めてくれ、お施主など、山川氏に賛同してくれる地元の人が多いことが何われる。

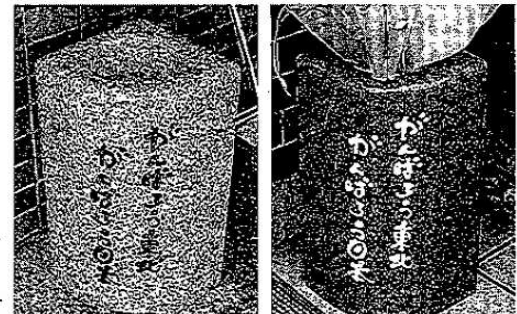
この理由は、創業以来、地元一筋の同店の姿勢が大きく影響していることだろう。常に地元の役に立ちたい、という山川氏の考えと行いだらう。

だから、今回のこと「自分や自社だけでは来ません。賛同して頂る地元の方々の暖かいや想い、そして協力しただけの業者の方々のような皆さんのおかげ出来ることです。これからも業界の仲間をできかぎり支えたい」と想を語っている。

山川氏のような業界は、まだまだ全国に沢いることだろう。また、そういう石材人が増えいけば、必ず復興、復に繋がることだろう。

で、実家と石材店の工場が床上浸水した経験がある。その時も慰霊碑を平成22年11月10日に佐用町に建立している。  
そんな経験から、山川氏は災害に対する想いは強い。東日本大震災後は、いてもたってもいられなかったというが、

体調が優れないこともあって、被災地に応援に行くことが叶わなかったという。  
「地元」に居ながらも何とか応援が出来ないかと日々思っていた時、取引のある大阪の石材業者から今回の傘立てのことを聞き、即購入に動い



伊達青御影や紀山石を使った傘立て

5基を購入。地元佐用町の町役場や商工会などの玄関口に設置した。これは同社が昨年10月初旬、大阪の石材業者からこれらの製品があることを聞き「少しでも被災地石材業者の力になりたい」と行ったもので、傘立ては高さ約60センチ。側面には「がんばろう東北・がんばろう日本」と彫られている。

山川氏は、平成21年8月9日佐用町内で死者18名、行方不明者2名の人的被害が出た台風第9号



死者18名、行方不明者2名の人的被害が出た台風第9号の佐用町慰霊碑

東日本大震災により被害を受けた福島県や宮城県等の石材業者を応援しようと、兵庫県佐用町で石材店を営む(有)山川石材店の2代目・山川隆氏(58才)は、伊達青御影や紀山石を使った傘立て

◆(有)山川石材店  
兵庫県佐用郡佐用町3467  
TEL 0790-82-3522